



「次の学年にどんなバトンを渡したいですか？」

～3学期始業式講話より～

校長 菅原 千保子

今日から3学期が始まりました。整列している皆さんの中から、新年の決意が伝わってきました。大きな事件・事故もなく一回り成長した皆さんの姿を見てほっとしています。

さて、3学期は昔から「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」と言われ、あっという間に過ぎ去ってしまいます。また、次年度に向けての準備期間としてよりステップアップするための助走期間です。今日はそれに伴い、今日は皆さんに伝えたいことを3点お話しします。

①「整える」

3学期はこれまでの生活を整え、次の年につなぐ時期です。例えば学習への向き合い方、友達との関わり方、時間の使い方・・・少し整えるだけで、毎日の過ごし方は大きく変わります。自分自身を見直して、丁寧に過ごしていきましょう。

②「バトンを渡す」

次の学年にバトンを渡す時期ですね。一人ひとりの言動が学校の雰囲気を作りだしています。皆さんはどんなバトンを渡したいですか？「自分たちの学校は自分たちで創る」の合言葉を心に留めて、「誰か」ではなく「自分が」出雲中を創り出す、という気持ちで落ち着いて過ごしていきましょう。

③「挑戦する」

特に3年生は、今進路選択、受験が目の前に迫っている時期です。今、不安でいっぱいなのではないでしょうか。私が冬休みに読んだ本にこのような一文があったので紹介します。

「不安になるのは、前に進んでいる証拠！本気で考えて、新しいことに挑戦しているからこそ不安になる。」なるほど、と納得し、出雲中生にも伝えたいと思いました。「私は今、前進しているんだな。」とポジティブに捉えることで、気持ちが落ち着くような気がします。

ちなみに私は、迷ったり悩んだりした時は、頭の中で考えるよりも、「まずは具体的に動くこと」を実践しています。自分からアクションを起こすことで、違うアイデアが浮かんできたり、仲間が助けてくれたりするからです。その結果、後で振り返った時に「これだけがんばってきたから大丈夫！」という自信につながります。

今週はいよいよ文化祭展示部門ですね。素敵な作品が並ぶことを楽しみにしています。積み重ねてきた努力が次のステップにつながるよう、一緒にがんばりましょう。

今年も「チーム出雲中」として、先生やスタッフ、保護者・地域の皆様で、がんばる皆さんを全力で応援しています！3学期が皆さんにとって、実りある日々になることを願って私の話を終わります。

<1月の行事予定>

★ 表彰 ★ 第78回区民スポーツ大会
バスケットボール大会 中学生男子の部
第3位 出雲 Hoopers

日	曜	行 事 予 定	
8	木	始業式、文化祭展示準備	★
9	金	学校公開週間始	★
10	土	学校公開週間終	
11	日		
12	月	成人の日	
13	火	朝礼・安全指導、各種・中央委員会★ B時程 あいさつ運動始	
14	水	職員会議	♡
15	木	あいさつ運動終	★◆
16	金	英検、避難訓練(地震)	★
17	土	ものづくり学習フォーラム	
18	日		
19	月	生徒会朝礼	
20	火		★
21	水	私立推薦入試前日指導(3年) 職員会議	♡
22	木	私立推薦入試(3年)★★ オーケストラ鑑賞教室(2年)	
23	金	都立推薦入試前日指導(3年) 連合書写展始	★
24	土		
25	日		
26	月	都立推薦入試(3年⑤⑥カット)	
27	火	都立推薦入試	★
28	水	小中一貫教育の日(中萩小)⑤カット♡	
29	木	席書会、連合書写展終	★◆
30	金	都立推薦発表事前指導(3年) 研修会、職員会議 1年④⑥カット、2・3年④⑤カット	★
31	土		
★スクールカウンセラーの来校日			
◆ウィークリーサポート学習会			
♡スマイルサポート土曜学習・英検・漢検学習会			

文化祭 <展示の部> 開催

1月9日(金)各学年廊下、及び体育館棟にて展示の部を開催しました。前日から実行委員等の生徒が意欲的に準備する姿がキラリと光っていました。当日は学年ごとに時間を設け、力作を興味深く鑑賞。作品の完成度はもちろん、タイトルやコメントも深く考えて作ったことが伝わり、日頃の学習の成果を充分に感じる文化祭となりました。



伴走ボランティア大活躍！～区小学生駅伝大会～ 12月13日(土) 大田スタジアムにて開催された、小学生駅伝大会。(毎年教育委員会からの特別オファーがあります！) 今年度は本校の陸上部を中心にして3年生10名の生徒が協力者として参加しました。主に最後尾の児童を追い上げながら、伴走するという仕事内容でしたが、生徒たちは「小学生があきらめないでがんばっている姿に自分もがんばろうと勇気をもらいました。」「何事も支える人がいるということが大切だと思いました。」「小学生とのコミュニケーションの取り方がわかつて楽しかったです。」「心細い時に応援されたらがんばれると思うので、その立場になって大切さがわかりました。」等、それぞれ学びがあり、頼もしさを感じました。